

ユーザーレポート

ゼロ
0の証明

個人

お父さん、車に乗らないで 言葉の限界を超えて守った、家族の笑顔と地域の安全

ご利用機器

カメラ付き
アルコールインターロック装置

ALC-ZEROⅡ



「何度言っても止められない…」 孤軍奮闘の末にたどり着いた、究極の決断

お母様をすでに見送り、現在は70代の父親と、すべてを一身に背負って支える娘様、そして離れて暮らす兄弟という家族構成の中で物語は始まります。

■誇り高きエンジニアの定年と、忍び寄る影

お父様はかつて設計技師としてプライドを持ち、家族のために身を粉にして働いてきました。しかし、定年退職という人生の大きな節目を迎えたとき、長年頼りにしてきた「仕事」や「社会的つながり」が突然消え去り、ぽっかりと心に穴が空いてしまいました。

■止められない飲酒、深まる依存の泥沼

退屈さと言いやうのない孤独感を埋めるように、お父様の飲酒量は日増しに増えていきました。かつてのように節度を保つことができなくなり、「朝から缶チューハイを開ける」という、依存症特有のコントロールを失った日常へと呑み込まれていきました。

■娘様の献身的な愛と、限界を迎えた見守り

「お父さん、もうお酒はやめて……」。離れていても肌身離さず気遣い、電話をかけ、時には見守りロボットを導入するなど、娘様はありとあらゆる方法で父親を救おうと奮闘してきました。しかし、お酒の魔力の前には、家族の「言葉の説得」も「機械越しの見守り」も無力でした。

■中学校の用務員としての誇りと、拭えない恐怖

現在はシルバー人材センターを通じて中学校の用務員として働き、懸命に生きがいを見出しています。しかし、酒気が残ったまま、あるいは酒を切らずまいとコンビニへ車を走らせる危険な行動がどうしても止められませんでした。「かわいい生徒たちや学校関係者に、万が一の事故でも起こしてしまったら……」。想像するだけでも恐ろしい最悪の事態が頭をよぎり、「言葉で止められないなら、物理的に車を止めるしかない」と、娘様はアルコールインターロックの導入を決意しました。



断ち切れない依存の葛藤と、 温かな生きがいの光が共存する日々

多くのアルコール依存を抱えるご家族が直面する「現実」と、お父様が持つ「人間としての温かさ」が今、ここにあります。

■医療の現場から：アルコール依存症という重い現実

長年の習慣が引き起こしたアルコール依存症とアルコール性認知症の影は深く、手の震えや記憶の欠落といった症状が現れています。県立病院への通院を続けながら、糖尿病や軽度の脳梗塞(MRIで発見)という持病とも向き合っています。先週は、耳や口の周りの細菌感染による激しい激痛に見舞われ、奇しくもそれが強制的な禁酒期間となりましたが、こうした過酷な波を越えながら治療を続けています。暗いニュースばかりではありません。飲酒制限や懸命な服薬の結果、ガンマGTPが約300から110へと急減し、ヘモグロビンA1cも8.0から6.2へと改善するなど、身体は確実に光を取り戻しつつあります。

■心の救い：40年のキャリアが輝く「卓球指導」という生きがい
普段は9%の500ml缶チューハイを2〜3本、予定もなく過ごされる日や休日には朝から6〜7本を求めてしまう……。これが、依存症という病の「どうしても自分では止められない」紛れもない現実です。しかし、そんなお父様の心を救っているのが、高校時代から40年以上のキャリアを誇る「卓球」です。中学校の部活動で生徒たちに熱心に技を教え、練習試合の相手を務める時、お父様は輝いていたかつての誇りを取り戻します。車で約5分の中学校への通勤は、生きがいを繋ぎ止める大切な命綱となっています。

「車が動かない」 夜の闇と誘惑を打ち破った、命を守る最強のブレーキ

「頭では分かっているけど、夜中に酒が切れると足が勝手に車に向かってしまう……」。同じ悩みを持つご家族なら誰もが共感する、この「どうしようもない魔の瞬間」を、アルコールインターロックは容赦なく、そして優しく物理的に食い止めました。データが語る実態は、多くの悲惨な事故を未然に防ぎ切った感動の記録です。

日時	測定数値	【データが証明する真実】～防がれた危機と背景～
7月21日 ～深夜帯複数	検知あり	深夜23時頃など、酒が切れて買い出しに走ろうとした衝動を物理的に撃退。
7月22日 朝7:30	検知あり	出勤を急ぐ朝の発進をブロック。同僚への送迎依頼で大事に至らず回避。
7月23日 夕方16:00	検知あり	病院からの帰宅後、魔が差してハンドルを握ろうとした瞬間を完全阻止。
7月24日 夕方16:00	0.87mg/L	高濃度のアルコールを即座に検知！最も危険な飲酒運転の企てをシャットアウト。

ユーザーレポート

ゼロ
0の証明

個人

■家族に訪れた、心からの安らぎ

「車が動かない。だから乗れない」。その物理的な絶対のルールが、毎日張り詰めていた娘様の心をどれほど救ったことでしょうか。「導入前と比べて、胸のつかえが取れて驚くほど楽になりました」。お父様自身も、システムに阻まれるうちに「車を出せないのは、自分にとって周りにとっても良いことだ」と、穏やかに受け入れるようになっていきました。

2026/06/12 07:22:53 測定結果(NG)				
No.	車両ID	車両名	運転者ID	運転者名
3159	0	未登録		
発生日時	イベント	測定値	Contシリアル	
2026/06/12 08:33:05	測定結果(NG)	0.154	0004850	

2026/06/12 09:34:55 測定結果(NG)				
No.	車両ID	車両名	運転者ID	運転者名
3161	0	未登録		
発生日時	イベント	測定値	Contシリアル	
2026/06/12 09:34:55	測定結果(NG)	0.091	0004850	

2026/06/12 09:52:01 測定結果(NG)				
No.	車両ID	車両名	運転者ID	運転者名
3163	0	未登録		
発生日時	イベント	測定値	Contシリアル	
2026/06/12 09:52:01	測定結果(NG)	0.060	0004850	

2026/06/12 10:00:41 測定結果(NG)				
No.	車両ID	車両名	運転者ID	運転者名
3165	0	未登録		
発生日時	イベント	測定値	Contシリアル	
2026/06/12 10:00:41	測定結果(NG)	0.051	0004850	



飲酒運転に悩むご家族とともに歩む

孤独にさせない、私たちが目指す真の寄り添いと伴走

お母様を亡くされた悲しみを胸に秘めながら、ご自身の仕事や複雑なご家庭の事情をすべて一人で抱え込み、それでもお父様の手をずっと離さずに歩んできた娘さんの姿を思い返すと、胸が熱くなります。その果てしない愛と優しさこそが、お父様の命を守り、この家族の穏やかな日常を繋ぎ止めてくれました。決して平坦ではない道のりだからこそ、これからは私たちも一緒に、温かな優しさに包まれて歩いていきたい。そんな思いを込めて、これからの日々を見つめてみます。まずは、一歩ずつの安心を重ねること。車という大きな危険はインターロックがしっかりと守ってくれました。これからは、夜中に酒が切れ

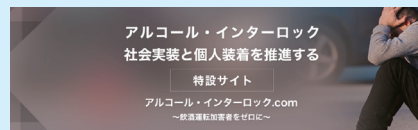
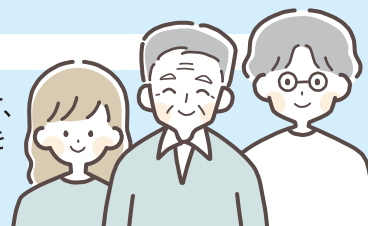
て徒歩でコンビニへ向かう際の転倒リスクなど、お父様の身の回りの安全を、どうすれば温かく見守っていけるかを一緒に考えていきたいと思います。

そして、無理のない「ちょうど良さ」を目指すこと。完璧な断酒を無理に強いて心を追い詰めるのではなく、「まずは量を1〜2本に抑えて健康を取り戻した」という多くの先輩たちの温かな事例に倣いながら、お父様がご自身のペースで笑顔を取り戻せるよう、焦らず見守っていきましょう。

何より大切なのは、「決して一人にしない、つながりの輪」です。半年のセンサー交換やデータの共有という節目だけでなく、私たちサポートスタッフも、いつでもあなたのすぐそばに寄り添っています。そして、同じ苦しみや孤独を抱えるご家族同士が、誰にも言えない悩みを分かち合い、心を通わせ合える温かな居場所をつくること。これからもずっと、このご家族の笑顔を守り続けるために、私たちはともに歩み続けます。

取材ご協力

家族を守る方法の手段として、
アルコール・インターロックを
導入されたKさんご一家



東海電子WEBサイト
【アルコール・インターロック.com】
<https://alcohol-interlock.com/>



LINE公式アカウント

大切な人の飲酒運転で悩まれていたら…
いつでもLINEで
ご相談ください！

@700xyfip

